

主要事業評価シート(第2次実施計画 / R1・2・3年度)

基本事項	計画コード	事業名	部名	上下水道部
	19010	亀山・関テクノヒルズ工業用水道整備事業	課名	上水道課 上水道工務G
	施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上	財務科目	12:工業用水道公営企業会計
	基本施策	01:企業活動の促進・働く場の充実	款	資1:資本的支出
	施策の方向	01:持続可能な産業構造の構築	項	01:建設改良費
戦略プロジェクト	-		目	01:施設費
事業予定期間	R 1 ~ R 2 年度	主な根拠法令要綱等	工業用水道事業法	

目的・概要	対象	亀山・関テクノヒルズ進出企業
	目的	亀山・関テクノヒルズ内に工業用水道を整備することで、新たに進出する企業が必要な事業活動を展開することができる環境を整える。
概要	工業用配水施設、給水施設及び量水装置の工事を施工する。	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
年度計画	年度計画	○配水施設工事 L=665m ○給水施設工事 2社	○量水装置 2社		
	年度実績	○配水施設工事 L=677m ○給水施設工事2社			
事業の計画・実績	計画額	事業費	74,400千円	16,600千円	
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他	74,400千円		
	予算額	事業費	73,000千円		
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他	73,000千円		
決算額	事業費	70,751千円			
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	70,751千円			
人件費	一般財源	0千円	16,600千円	0千円	
	総人件費	1,570千円	0千円	0千円	
	一般職員	1,570千円	0千円	0千円	
	所要人員	0.20			
		会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円
総コスト(+)		72,321千円	0千円	0千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

				令和元年度	令和2年度	令和3年度	
指標	名称	給水企業数	成果	計画値	0	2	
				実績値	0		
				単位	社	社	
	名称				計画値		
					実績値		
					単位		
	名称				計画値		
					実績値		
					単位		

事業の改善行動	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】

		評価	(判定)
事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 新たに進出企業が必要な事業活動を展開するために工業用水道配水管の延長677mを布設工事を実施した。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 各企業までの配水管布設工事が完了し、給水が可能となった。	A 十分な成果を得た

今後の対応方針	課題	【課題は何か】 企業が求める適切な給水開始時期に合わせて、量水装置の工事を実施する必要がある。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 企業側の建設工事と量水装置工事が、互いに支障とならないよう工程調整等を図る。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 工事が円滑に進むことで、企業の事業活動が順調に展開される。	
対応時期		令和2年6月末	

【1次評価者】	上下水道部 上水道課 上水道工務グループリーダー 山内 光広
【最終評価者】	上下水道部 上水道課長 杉本 良則

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	/	/	A		
	成果	/	/	A		

令和元年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		73,000 千円
内訳	平成30年度からの繰越額	千円
	令和元年度の最終予算額	73,000 千円
	令和2年度への繰越額	千円